

強みを活かした3つの事業

素材事業

機能性の高い素材を開発・提供

サステナブルな視点で木質資源や鉱物資源を有効活用し、不燃、耐震、断熱、吸音、調湿など、人々の生活シーンに求められるさまざまな機能を付与した素材を提供しています。

売上高構成比

構成比
35%

木質資源を有効活用	概要		主な特長・機能		主な用途	
	インシュレーションボード	建築解体木材などを主原料に活用し、板状に成形した木質繊維板	木材チップ	●断熱性 ●調湿性 ●クッション性 ●軽量	畳床 インシュレーションボード	養生ボード
	MDF	製材端材などを主原料に活用し、板状に成形した木質繊維板	木質繊維	●寸法安定性 ●表面平滑性 ●加工性 ●耐水性	床材の基材 MDF	建材・家具の基材 (ドア、収納、窓枠等の芯材) MDF
	単板・LVL	単板：丸太を切削したもの LVL：単板を繊維方向にすべて平行にして積層・接着した木材加工品	単板 LVL	●寸法安定性 ●高強度 ●加工性	I-Joist LVL	構造材
	畳おもて	機械すき和紙をこより状により合わせ、樹脂コーティングした後、織り上げた畳おもて	機械すき和紙	●耐光性 ●撥水性 ●調湿性 ●カラーバリエーション	畳 住宅向け 宿泊施設向け	
鉱物資源を有効活用	ダイロートン	製鉄時の副産物ロックウールを活用し、板状に成形した鉱物質繊維板	ロックウール	●不燃性 ●軽量 ●吸音性 ●加工性	天井材 住宅向け オフィス向け	
	ダイライト	未利用資源スラ(火山灰)とロックウールを活用し、板状に成形した無機質素材	ロックウールとスラ	●不燃性 ●軽量 ●高強度 ●加工性 ●透湿性 ●防蟻性 ●防腐蚀性	壁下地材 住宅向け外壁下地材	壁材 不燃壁材

日本アーキテクチャ
建材・設備メーカー
ランキング
2023

無機系耐力面材部門 2位

読者を対象に、建材・設備メーカーの製品採用意向等をアンケート調査
2023年11月23日号

国内
MDFシェア

No.1

(当社推計)

国内
インシュレーション
ボードシェア

No.1

(当社推計)

売上高

(百万円)
120,000

100,000
80,000
60,000
40,000
20,000
0

2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023(年度)

55,354 61,843 76,589 80,692 100,177 97,681 73,290

生産工場

●岡山工場
●高萩工場

ダイライト・ダイロートン・インシュレーションボード
インシュレーションボード

連結子会社

●株式会社ダイタック
●会津大建加工株式会社
●日南大建株式会社
●エコテクノ株式会社
●DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED(ニュージーランド)
●DAIKEN SOUTHLAND LIMITED(ニュージーランド)
●DAIKEN SARAWAK SDN.BHD.(マレーシア)
●DAIKEN MIRI SDN.BHD.(マレーシア)
●CIPA Lumber Co. Ltd.(カナダ)

畳おもて製造
畳おもて製造
防腐防蟻LVL用単板加工
廃木材加工
針葉樹MDF製造
針葉樹MDF製造
広葉樹MDF製造
広葉樹MDF製造
単板製造

事業別戦略

■ 持続可能な資源を活用した素材開発と販路拡大を通じ、グローバル市場での社会課題解決に貢献
■ 収益性改善に向けた事業構造改革の実行

価値創造

① 素材の可能性を広げる用途開拓及びサステナビリティ視点での代替需要の獲得
② 不燃製品、畳用資材等の公共・商業建築分野向けの製品力強化と販売拡大

●環境配慮型MDF生産開始に向けた検証
●インシュレーションボードやMDFなど、木質素材の新規用途展開の推進
●ルーバー材、軒天井を含むダイライト基材の不燃化粧材の拡販
●MDF4工場での事業構造改革を推進

執行職 MDF事業部長
本田 貴久

執行役員 エコ事業部長
遠藤 稔

MDF事業部は、マレーシア2工場、ニュージーランド2工場の生産体制で、日本のみならず、世界各国で販売しています。2023年度は高止まりする原油価格に、世界的なMDF市況の低迷と、円安の影響により厳しい経営環境となりましたが、コスト削減努力や構造改革の推進を通じて、この局面に対応してきました。

2024年からは、マレーシアでPEFC認証を取得したMDFの商業生産を初めて開始し、ニュージーランドのFSC認証材利用とあわせて、植林木利用率の向上と、森林認証材利用率の拡大を推進していきます。

今後は、MDFの新規用途開発を推進するとともに、次世代に求められる新たな素材の立案を、事業部一丸となって挑戦していきます。すでに従来以上にサステナブルなMDFの開発にも着手しており、木質由来の接着剤を用いたMDFや、原材料の使用量を減らし、低密度でも同等性能を発揮する製品など、環境負荷を軽減したMDFの安定生産・安定供給に努めます。そして、より多くのお客様にご採用いただけるよう取り組むことで、木質素材製造のトップランナーとしての存在感を示していきます。木材のカスケード利用において、小径木や製材廃材など、未利用材が活用できるMDFは炭素固定機能の観点からなくてはならない素材となりました。今後もグローバルな視野で、社会課題解決に資する挑戦を続けていきます。

エコ事業部では、未利用資源や再生可能資材を活用した、「インシュレーションボード」、「ダイライト」、「ダイロートン」及び「畳おもて」という多様な素材を製造しています。昨年は地政学的なリスクが紛争という形で表面化したことに加え、為替の急激変動も重なったことから、事業活動では資材の調達環境を整えることを優先事項としてきました。そのような環境変化の中、当社では素材から床や壁、天井といった建材製品を設計できるという大建工業の強みを生かし、空間価値向上を切り口に新たな製品提案を行っています。例えば、『ダイロートン』を基材とした天井材は、吸音性、消臭、調湿性能など、居住空間を快適にする機能を訴求することにより、住宅市場でご採用いただくケースが増えています。また、『ダイライト』は不燃性能を生かした化粧板、軒天、ルーバー材としてのご採用が増加しています。2023年度には、東海道新幹線の再生アルミと当社の『ダイライト』を組み合わせた新製品を発売し、サーキュラーエコノミーに貢献するとともに、多くの人が集う公共・商業空間に対してデザイン性と不燃材料という点での安全性を両立させる提案を充実させました。

他にも、インバウンド需要が期待される畳に関して、当社独自の機械漉き和紙を原料とした畳おもては、耐傷性や撥水性という機能を有しています。また、畳のある空間での生活の豊かさや、心地よさを訴求、提案することで、和文化の継承・発展に寄与していきます。